

未来のための投資

持続可能なまちを目指して

一般会計の予算 **189億5000万円** (前年度比で18億4000万円の増額)

👉 議会が注目した3つの新規事業

注目

①

空き家等リノベーション推進事業費

2億500万円

再生可能な建物をリノベーション（新たに価値を加える改装）することで、移住者や技能実習生などへの住環境整備、宿泊や飲食店、シェア事務所など新たな活用へ。

財団法人を設立して、人が行き交う潤いのあるまちづくりに挑戦する。

空き家、空き店舗は、地域の財産。利活用したい方とのマッチングが大切。ソフト事業の取り組み強化を。



議員の思い

注目

②

DMOで新たな観光まちづくり事業費

1,465万円

新たな観光推進体制（DMO）による持続可能な観光まちづくりに取り組む。

※ DMO（観光地域づくり法人）とは

地域の「稼ぐ力」を引き出すため「観光地経営」の視点に立った舵取り役として、多様な関係者が協働しながら地域でお金が回る戦略を実施する法人のこと。観光入込客数や宿泊客数、消費額の目標達成に向け、ニーズの把握やイベントの見直し、観光スポットの開発が期待される。

観光に関する多くの住民や関係者が関わっていくことが必要。プロモーションの見直しも。



議員の思い

注目

③

安心子育て・ママの里推進事業費

459万円

① ウィメンズチャイルドクリニック構想
(市民の健康を守る産婦人科・小児科のかかりつけ医)

② 産前産後ケア

③ 女性と子どもの健康への寄り添い

④ 安心の地域医療

この4つの視点を一体的に検討し、将来のニーズに対応する環境を作る。

生涯を通じた健康を守る取り組みが重要。こころの悩みを含め、気軽に相談できる体制の充実も。



議員の思い



3月定例会

令和5年3月定例会を、2月21日から3月10日までの18日間の会期で開催し、一般質問は12人の議員が市政を問いました。

市が提出した案件は、全32議案で、令和5年度一般会計予算を含む予算15件、条例12件、その他5件を審議し、すべて原案のとおり可決・承認しました。

また、最終日の本会議では、人権擁護委員の任期満了に伴う人事案件5件及び議員発議による条例2件を同意・可決しました。

人権擁護委員
多田 功一氏
白石 健也氏
菊池 秀男氏
宮島 慶子氏
荒川 泰子氏

議員 発議

◆ 発議案第1号
今定例会では、議員発議案（条例2件）が提出され、可決しました。

◆ 発議案第1号
遠野市議会の個人情報保護の保護に関する条例の制定について

法律改正に伴い、議会において個人情報保護に関する制度について新たに条例を制定する必要のあるもの。

◆ 発議案第2号
遠野市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議員の調査研究の基盤強化のため、政務活動費の額を月額1万円にするもの。

3月臨時会

一般会計補正予算第11号を可決しました。

補正予算の
主な事業

- ・ 配合飼料価格高騰等に係る畜産振興緊急対策に係る予算
- ・ スクールバス車内置き去り防止対策に係る予算

YouTube 配信開始

定例会及び臨時会のYouTube配信をしています。定例会及び臨時会終了後、2週間ほど動画を掲載します。下記アドレスもしくはQRコードからアクセスしてください。

<https://www.youtube.com/@user-re4he9dj9b>

